

エアラインマスク 仕様書

京都市消防局警防部警防課

(担当:下釜、馬場 075-212-6745)

この仕様書は、京都市消防局（以下「消防局」という）が使用するエアラインマスクについて定めたものとする。

1 品名及び数量

エアラインマスク 1式

2 仕様

(1) 基本構成

本装置の基本構成は、最高充填圧力 14.7Mpa 及び 29.4Mpa の空気呼吸器用高圧空気容器（以下「空気ボンベ」という）2本を供給元として、圧力調整器により、0.2～0.99Mpa に減圧された圧縮空気を各機器に供給するもので、下記能力を備えているもの。

ア 一方の空気ボンベの圧力が無くなった場合は、残量警報器が鳴動し、供給中であっても、容器切替弁の操作により、他方の空気ボンベに瞬時に切替えることが可能なこと。

イ 空気ボンベを交互に使用し続けて長時間使用が可能なものであること。

ウ 空気呼吸器に接続し、複合式エアラインマスクとして使用できること。

エ 最大2名、ホースを連結し最長90mの範囲で活動ができること。

(2) 供給装置本体

ア 仕様可能な容器 空気ボンベ 最高充填圧力 14.7Mpa 及び 29.4Mpa

イ 容器接続方式 上記空気ボンベを手締めにて接続可能で、残気圧抜き栓の開閉により、空気ボンベの交換の際の安全が確保できること。

ウ 残圧警報器 空気ボンベの残圧が6Mpaになれば警報器が鳴動すること。

エ 調整可能圧力 圧力調整器を使用し、14.7Mpa と 29.4Mpa のボンベ圧力を0.2から0.99Mpaまで任意に調整設定が可能なこと。

オ 圧力計 使用中の空気ボンベの内部圧力を指示する圧力計と、送気圧力（任意に調整した圧力）を指示する圧力計を備えること。

カ 容器切替弁 使用中の空気ボンベ圧力が6Mpaに達し、警報器が鳴動した時点で容器切替弁を切替えれば、もう一方の空気ボンベからの供給を瞬時に行えること。

キ 容器接続ホース 29.4Mpaの圧力まで使用可能なこと。

ク 標準空気流量 標準空気量は、560L/分であること。

ケ 供給空気取出口 供給空気取出口は3口備えており、接続カプラーはフルフロー式、ロック機能があること。

(3) ホース

ホースの長さは、一次側 2m 以上、2 次側 30m のホースが、ホースリールに備えつけられていること。ただし、結合式のホースであれば、根元側 1 つのみホースリールに備えつけられているものとする。

(4) 付属品

接続接手（ホースリール連結用）

3 納入期限

令和 7 年 3 月 3 1 日（月）

4 納入場所

京都市消防活動総合センター

京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内 9 4 - 4

5 その他

(1) 納入日については、事前に当局担当者との協議し、日時を決定すること。

(2) 受注者は、納入後 1 年以内に故障（当局の責に帰さない理由によるものに限る。）が生じた場合は、速やかに受注者の責任において無償で修理、取替え等の必要な措置を講じること。ただし、仕様上の欠陥等による故障は、期間にかかわることなく当局の使用期間中保障するものとする。

(3) 納入時に納入器材を使用し、取扱説明及び点検を実施すること。なお、上記研修等に係る費用については受注者の負担とする。

(4) この仕様書に疑義が生じた場合は、その都度、当局担当者との協議し、指示を受けること。